

記事

[Megumi Kakechi](#) · 2020年10月25日 4m read

## ネットワーク共有フォルダ/ネットワークプリンタの参照方法

これはInterSystems FAQ サイトの記事です。

ネットワーク共有フォルダ/ネットワークプリンタにアクセスしたい場合、以下の2の方法があります。

- A. net use コマンドを使用する方法
- B. IRISの起動ユーザを変更する方法

詳細は以下をご覧ください。

-----  
[方法A]net use コマンドを使用する方法  
-----

1) IRIS からネットワーク共有フォルダへのアクセスを許可する場合、以下のコマンドを実行するように SYSTEM^%ZSTART に記述します。

```
net use / /<サバ> /<共有フォルダ> /user:<ユーザ名> <パスワード>
```

^%ZSTART または従来の ^ZSTU は、ユーザのスタートレチンです。

詳細は以下のページをご参照ください。

[^%ZSTART レチン ^%ZSTOP レチンによる開始動作/停止動作のカスタマイズについて](#)

---

%ZSTART での記述ミスは IRISの起動不可になりますので、%ZSTARTの単行を確認するようにしてください。

また、%ZSTART レチンは、ネームスペース %SYS に新規に作成する必要があります。フォーマットは以下になります。

```
SYSTEM  
Set st = $ZF(-100, "/shell", "net", "use", " / / share / public", "/user:username", "password")  
Quit
```

2) %ZSTART レチンを探コンパイルしたら、IRISを再起動します。

### << 注意 >>

ターミナルで実行する場合と、TelnetやJobコマンドで実行する場合では、ユーザ権限が異なります。

=====

```
ターミナル: Windowsログインユーザ  
Telnet/Job: IRISサービスの起動ユーザ(既定: LocalSystem)
```

=====

ターミナルはWindowsログインユーザセッションを共有しているため、事前にWindowsでネットワーク共有フォルダにアクセス済みであれば、IRISで既設定しなくてもターミナルからのアクセスは可能です。

しかし、Telnet/Job(バックグラウンドジョブ全般 ) はIRISサービスのログインユーザセッションを共有するため、IRISサービスの起動ユーザで net use

コマンドを実行する必要があります。

上で紹介しているように、^%ZSTART 11で net use コマンドを実行することで、Telnet/Job でのアクセス可能になります。

ODBC/JDBC接続や、Webアプリケーションで動作するものを除く

---

#### [方法B] IRIS の起動ユーザを変更する方法

---

##### 1) ユーザアカウントを決めます

IRIS のサーバネットワーク共有をサービスしているサーバに、同じユーザ名/パスワードのアカウントを作成します。

ユーザアカウントは、Windows Administrators グループのメンバーである必要はありません。

##### 2) irisinstall コマンドを使用して IRIS サービスのユーザアカウントを変更します。

IRIS サービスのユーザアカウントを変更するには、従来のように

'Windowsコントロールパネル>管理ツール>サービス>IRIS Controller for XX'

からIRISサービスの起動ユーザを変更するのではなく、irisinstall コマンドを使用して変更します。

コマンドは次の通りです。

```
irisinstall setserviceusername <構成> <起動ユーザ名> <パスワード>
```

具体は、Windows のコマンドプロンプトを **管理者権限で** 起動して次のように実行します。

(ユーザ:username、パスワード:password を使う場合、構成 IRIS とします)

```
cd C: / InterSystems / IRIS / bin install dir / bin に移動
```

```
irisinstall setserviceusername IRIS username password
```

#### << 注意 >>

[方法B]の場合も A と同様に、タミナでネットワーク共有フォルダにアクセスする場合は、事前にWindows でネットワーク共有フォルダにアクセスしていることが条件になります。(Windowsログインユーザセッションを共有しているため)

#### << 注意 >>

サービス起動ユーザをLOCAL\_SYSTEMから変える、権限が不足するためLarge Pageの使用( )ができなくなります。

[Windows上でのCaché共有メモリの割り当てについて](#)

Large Pageを使用するためには、変更したアカウントに対して"メモリ内のページのロック"

特権を付与する必要があります。

"メモリ内のページのロック" 特権の付与は、ロカalseキュリティポリシー(secpol.msc)より実施します。

